

代々木ゼミナール

08年4月、新宿駅から徒歩10分弱の所に、新たに代ゼミタワーが開校した。
地上26階、地下3階建ての高層ビルで、教室のはかに自習室、スカイレストラン、空中庭園、学生寮を備えている。レストラン、庭園からの眺望は抜群で、明治神宮の緑が眼下に広がる。寮は個室になっているが、14階にある自習室に足を運び、ライバルの気配を感じながら、勉強する生徒がほとんどだという。

「アネットス」内にある。医学部の過去問題や資料、医系専門の雑誌などがそろい、パソコンコーナーでは、大学のホームページや医学関係の情報をインターネットで検索できる。進学や受験に関する質問は、医系専門スタッフが随時受け付けている。
代ゼミの授業は、各大学のレベルに合わせてきめ細かくコースが設定されており、志望校に即した授業が受けられるとの定評がある。顧問の養老孟司・東大名誉教授によるセミナーなどの講演会も開催し、受験生のモチベーションの向上にも努めている。



最新の設備が整った、医学館情報センター（代ゼミ提供）

中高一貫校生専門塾

首都圏に多い難関大医学部。実績を上げているのは、名門私立の中高一貫校だ。それら中高一貫校に通う、優秀な生徒を対象とする塾がある。

鉄緑会

「指定校制度」という独特のシステムを取り、原則的に男女御三家をはじめとする、名門中高一貫校の生徒のみを受け入れているのが鉄緑会だ。指定校のひとつ、桜蔭に娘を通わせている母親は、次のように話している。

「桜蔭に合格した日に入塾の電話をしたのですが、申し込みの電話が殺到し、ずっと話中でなかなかつながりませんでした。やっと夕方に通じて入塾できたのですが、定員に達してしまうのでは、とひ

定して編成されており、ハイレベルな授業が展開されている。学習量が多く、競争は厳しいが、少人数制で講師と生徒の距離が近く、丁寧な指導を行うのも特徴だ。

「やりました」

講師はすべて東大卒業生か、在籍生のみ。東大を目指す受験生のための塾だが、当然、医学部にも大勢の合格者を輩出している。

「東大の入試は確かに難しいのですが、意外にオーソドックスな内容なので、医学部にも対応できるんです」（鉄緑会の富田賢太郎会長）

難関大医学部の合格実績は群を抜いており、08年は東京校・大阪校を合わせて東大理科に43人、京大医学部に25人、東京医科歯科大に28人合格した。それだけに授業はハイレベル。医学部を目指す生徒は

高校生になるとほとんど5教科を受講し、相当量の勉強をこなしているという。

SEG

東大数学科出身者が中心となって設立し、特に数学の指導に定評があるのがSEGだ。中高一貫校が中心だが、高校から入塾する生徒のためのカリキュラムも用意されている。数学のほかに、英語、英語多読、物理、化学、生物が開講されている。

難関大に数多く合格者を出しているが、受験に向けた詰め込みの勉強ではなく、自発的に考え、問題を自分で解決する指導を行っている。そのため、中1から高2までは受験にとらわれない「本物の学力」を追求し、本格的な受験指導を行うのは、高2の冬以降だ。

「医療の現場でも、自ら進んで行動ができない、いわゆる指示待ちの医師が増えていると聞いています。いくら受験に勝利しても、与えられた課

単科塾・選択型の塾

題をこなすだけでは、社会に通用しません。自分で判断できる能力が、医師の素質として大切ではないでしょうか」と古川昭夫代表。

決められたカリキュラムに従うのではなく、学科をチョイスして勉強できるのが単科塾・選択型塾の特徴だ。勉強の目的がはっきりしており、自分主導で勉強したいタイプ

にお勧め。

アイ・エイ・プレックススクール平岡

英語といえば文系を連想するが、医学部に合格するには、高度な英語力が必須。1965年に東大受験生に向けた塾として開講して以来、理系に強い英語塾として、医学部に多数の合格者を出してきたのが「アイ・エイ・プレックススクール平岡」だ。

「英語は理論的な言語なので、むしろ理系志向の生徒の方が勉強しやすい。受験だけでなく、一生使える英語を目指しています」（取締役・大町慎

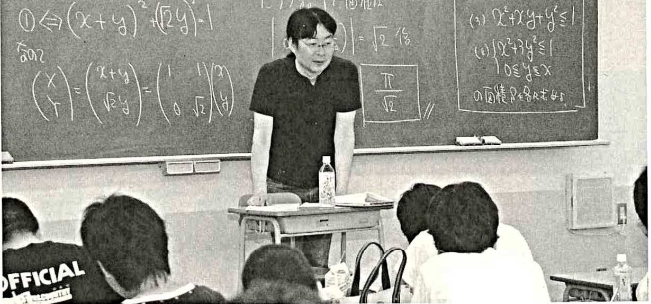


アイ・エイ・プレックススクール平岡の授業風景。手前は同塾の大町慎浩先生

Z会

有名バブリックスクールの生徒が読んでいるデカルト、ラッセルなどの英語の哲学書を使用している。TOEFL(コンピュータ式で300点満点)で280点以上、TOEIC(990点満点)で970点以上とする生徒もいるという。

Z会といえば通信添削のイメージが強いが、「Z会東大マスターコース」は東京を中とした首都圏に教室を展開している。難関大に実績があり、医学部にも多数の合格



自らも数学の授業を行う、SEGの古川昭夫代表